

燧ヶ岳山スキー報告

(山 域) 尾瀬

(コース) 尾瀬御池 P⇒広沢田代⇒熊沢田代⇒俎嶮⇒熊沢田代⇒広沢田代⇒尾瀬御池 P⇒駐車場でテント泊

(日 時) 平成 29 年 5 月 4 日 (木)

(天 候) 晴天

(参加者) CL : 菊池、SL : 薄井、鶴田、会員外 (伊藤)、記録 : 滝本

(山行タイム) 尾瀬御池 8 : 10、広沢田代 9 : 10、熊沢田代 10 : 35⇒俎嶮 12 : 20~13 : 05⇒熊沢田代 13 : 25⇒広沢田代 14 : 05⇒尾瀬御池 14 : 35



(山行報告)

5月3日の夕方から出発し、現地の駐車場でテントを張って前泊する予定でしたが、新潟から伊藤さんが参加され、那須にある別荘を前泊で使用させていただき、快適な前泊が出来ました。

5月4日の朝5時前に出発し、尾瀬御池の駐車場に向かいます。駐車場は除雪されていて周りに積み上げられていましたが、雪の壁の高さからかなりの積雪量であることがうかがえます。



伊藤さんの別荘



尾瀬御池の駐車場

駐車場を出たところから暫くは緩い傾斜ですが、その後は広沢田代にかけて約 150m の高さまで急登になっていることから最初から板はザックに付けてつぼ足で登ることにしました。ここはかなりの急傾斜で、シール登行をしている人もいましたが、かなり苦勞して我々はゆっくり登っているにもかかわらず、あっさりと抜いて行きました。急傾斜ですが木の間は広く、広い尾根なので滑走には大きな問題はなさそうです。急登を 40 分ほど登ると傾斜が緩やかになり、樹林帯がまばらになり、周りの景色も見え始め広沢田代に到着。広沢田代には雨水が流れた跡なのか、20cm くらいの深さの溝やくぼみが多数あり、帰りにはちょっと苦勞しそうな感じがしました。

広沢田代の次には熊沢田代まで、まともや 150m ほどの急登になります。ここは東側から巻くような感じでシールのまま登って行きます。ここの登りはダケカンバがまばらで、コースが自由にとれるので急登の割には登りやすいルートでした。熊沢田代が近づくと、更に周りの山が見え始めて展望が開けてきます。



広沢田代：溝がたくさんあります



熊沢田代までの急登

熊沢田代に到着する頃、南の方向に彩雲が見えました。最初は薄かったのがだんだんとはっきりと見えてきました。彩雲は、昔から瑞相（良いことが起きる前触れ）の一つと言われ、この現象が現れる事は吉兆だと言われているようです。山頂近くになって更に濃くなってきました。

山頂に近づくと傾斜がきつくなってきますが、大きくトラバースしながら頑張って登って行きます。最後は山頂手前に板をデポしてつぼ足で粗崙（まないたぐら）に登頂。すぐ目の前にある柴安崙（しあ

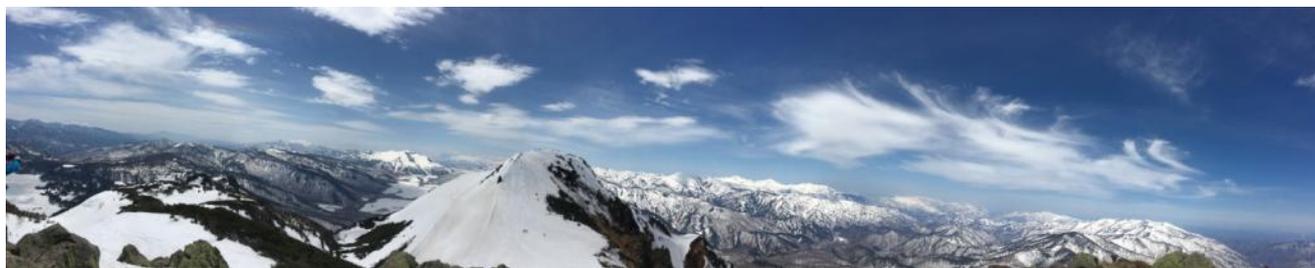
んぐら)、至仏岳をバックに記念撮影。柴安嶺へは更に急登で、この時はここを滑走している人はいませんでした。機会があれば登ってみたい山です。



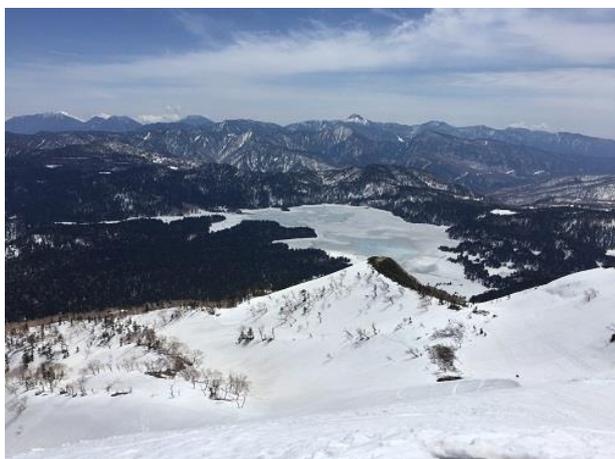
彩雲：吉兆の前触れ？



会津駒ヶ岳をバックに記念撮影



山頂からの大パノラマ



尾瀬沼が見えます



尾瀬ヶ原の向こうに至仏山です

デポした場所に戻ってエネルギーを補給して、さあ、これからが本番です。広々とした遮るもののない大斜面を雄たけびを上げながら滑走開始です。それぞれ、思い思いに滑った後は菊池先生の講義です。今回はストックの使い方。ストックは前でしっかり持って、後でぶらぶらさせないこととターンの時に前でしっかり突くこと。そう言えば、グレンデスキー初心者だった頃、ストックをターンのきっかけに使うと苦勞して曲がっていたのがスムーズに曲がれるようになったことを思い出しました。



スターと地点には大勢の山スキーヤー



好条件にリラックスモード



会津駒ヶ岳を見ながら



急斜面でも雪質がいいので楽々

あっという間に熊沢田代を過ぎ、広沢田代に向かう斜面を下って行きます。

ここもかなりの急斜面で小規模の湿雪雪崩を起こしてしまったようですが、木の間が広いのであまり危険を感じることなく楽しく滑れました。次は 20cm ほどの深さの溝が無数にある広沢田代ですが、思ったほどとび跳ねたり板がとられたりすることなく滑って行くことが出来ました。

最後の広沢田代からの下りは木の間が狭いところもあり、慎重に滑って行き駐車場に到着です。

とても雪質が良く、急斜面であるものの木の間隔はそれなりに有ってとても快適に滑ることが出来、滑りの技量が1ランクアップしたような、そんな気にさせてくれる山でした。



広沢田代に向かって



広沢田代からの下り

この後は明日の会津駒ヶ岳に向けて、駒乃湯で汗を流し、居酒屋「よってけ」のやきとりでエネルギーを補給し、ミニ尾瀬公園（駐車場とトイレのみ）にテントを張って寝ました。

